



工事紹介 ぱーと47

◇小瀬地区道路改良工事

請負者:置賜建設(株)

工期:H28年4月～H29年1月

切土した土砂を運搬・盛土する工事と橋の橋台を造る工事です。

橋台の基礎となる場所打ち杭の施工について



橋台を支える地盤が深い場合、杭を用いて基礎とします。

橋の基礎となる「場所打ち杭」は、地層によって掘る深さや大きさが異なり、大きな物だと1日に1本分しかできません。

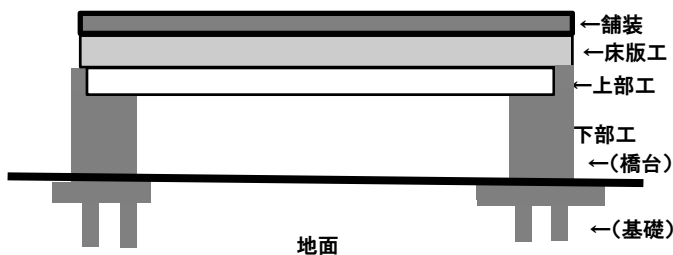
小瀬地区道路改良工事では、大きなクレーンで、9本の場所打ち杭の作業を行いました。



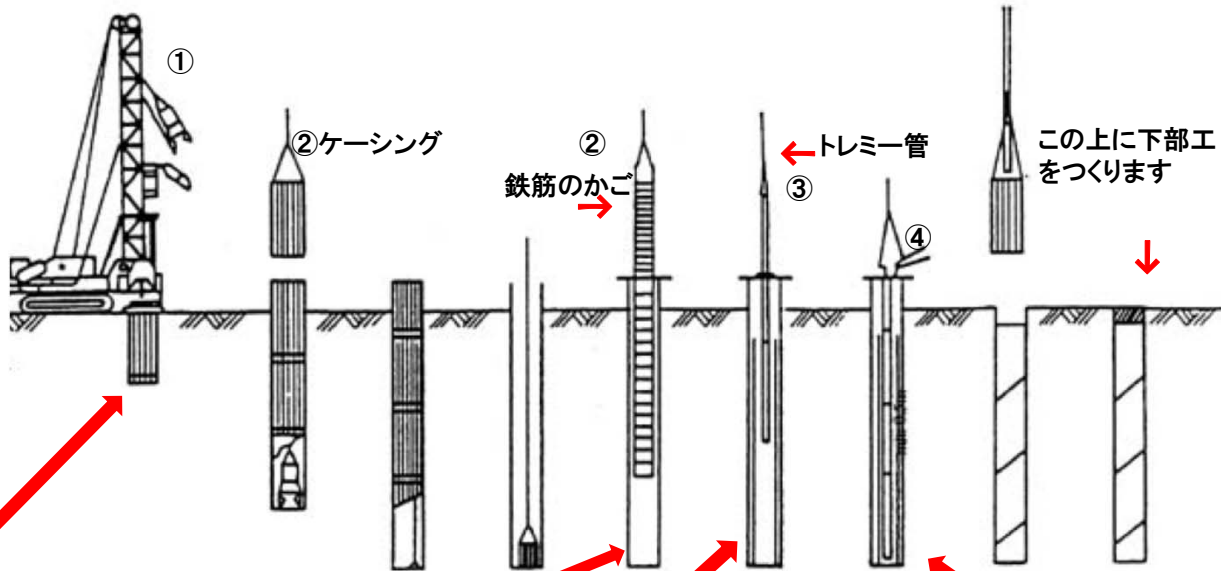
簡単に表すと・・・

橋はこのような感じでできています！

【橋の構造】



杭施工の手順



①機械を設置し、ケーシングを入れながら所定の深度まで掘っていく。

②鉄筋のかごをケーシングの中心に建て込む。

③トレミー管を挿入して、コンクリートを下から投入する。

④コンクリート打設しながらトレミー管とケーシングを引抜く。



現場のエキスパート

～小瀬地区道路改良工事～



置賜建設株式会社

左：現場担当者
加藤弘樹さん

右：現場代理人/監理技術者(兼務)
佐藤秀昭さん

当現場では、無事故・無災害で工事を完成させるために、「一声掛け運動」に取り組んでいます。

声掛けをすることで同じ、現場で働く仲間という意識を持ち、現場の活気づくりとコミュニケーションの向上が図られ、お互いに手を取り助け合いながら、「仲間からはケガ人を出さない」、「一声は仲間を助ける命綱」そんな現場を目指し取り組んでいます。



米工生がインターンシップを行いました!



6月17日～6月19日の3日間、米沢工業高校2学年の4名が、米沢国道維持出張所、南陽出張所、米沢監督官詰所において、インターンシップ(就業体験学習)を行いました。

1日目に現在建設が進む、東北中央道の栗子トンネル、杭施工、盛土工事等の工事現場で施工管理、現場監督業務を体験しました。

普段見ることができない工事現場での作業工程を実際に見て、体験した事で土木に対する意識が強くなったようでした。

この経験が、今後の将来設計に少しでも役に立ってもらえればと思います。

米工生のみなさん、3日間おつかれさまでした!



ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL: 0238-37-5570 FAX: 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

